

※対面形式により開催します。

・定員は対面 80 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。

1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。

個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。

・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。

なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

令和 7 年 9 月 吉日

各 位

軟弱地盤研究会（第 206 回）のご案内

軟弱地盤研究会  
会長 日野剛徳

日 時：令和 7 年 9 月 29 日（月） 14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：【対面】佐賀県建設技術支援機構 3F 研修室

（〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 TEL 0952-97-5595）

<https://goo.gl/maps/KP7Cx7ni8ZqhPE5B6>

駐車場は外部駐車場をご利用ください（添付資料を参照）。

話 題：杭施工に伴う粘土層の乱れとせん断強度の回復・増加特性に関する実験的考察と予測法

講演者：信州大学工学部水環境・土木工学科 教授 梅崎健夫 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

粘土地盤に杭を打設する場合、杭周辺の粘土層が大きく乱され、一時的に粘土のせん断強度が低下するが、施工後時間の経過とともに強度増加することが知られている。この場合の強度増加を、①巨視的な物理的要因：練返し・再圧密による含水比（間隙比）の減少（二次圧密）と②微視的な物理・化学的要因：含水比一定の下でのシキソトロピー現象の 2 つの要因であると仮定した。講演では、まず、乱れの程度の異なる粘土を再圧密した供試体に対して圧密定体積一面せん断試験を行い、非排水せん断強度の増加特性について解説する。次に、②高温環境下（ $T=70^{\circ}\text{C}$ ：時間促進）、含水比一定の条件下に静置した供試体に対する強度増加特性について解説する。

※参加希望の方は 9/22（月）・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: [asgt@sagacat.or.jp](mailto:asgt@sagacat.or.jp)

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地（公財）佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603